



Smiles  
*for the*  
Public



# TOA株式会社

2021年3月期 第3四半期業績数値資料

2021年2月  
TOA株式会社 経営企画本部 広報室

# 将来の見通しについて

- 当社が開示する情報の中には将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、発表時点での情報に基づく予測であり、経済情勢等の変化によって大きく異なる結果となる場合があります。当社としましては、将来見通しの精度を高めるための努力をするとともに、見通しの変化が生じる場合には適宜開示いたします。
- 当社ホームページは投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断においておこなわれるようお願いいたします。
- 当情報の正確さや掲載内容につきましては細心の注意を払っておりますが、なんらそれらの正確性を保証し、または責任を負うものではありませんのでご了承ください。

# 2021年3月期 第3四半期の業績

---

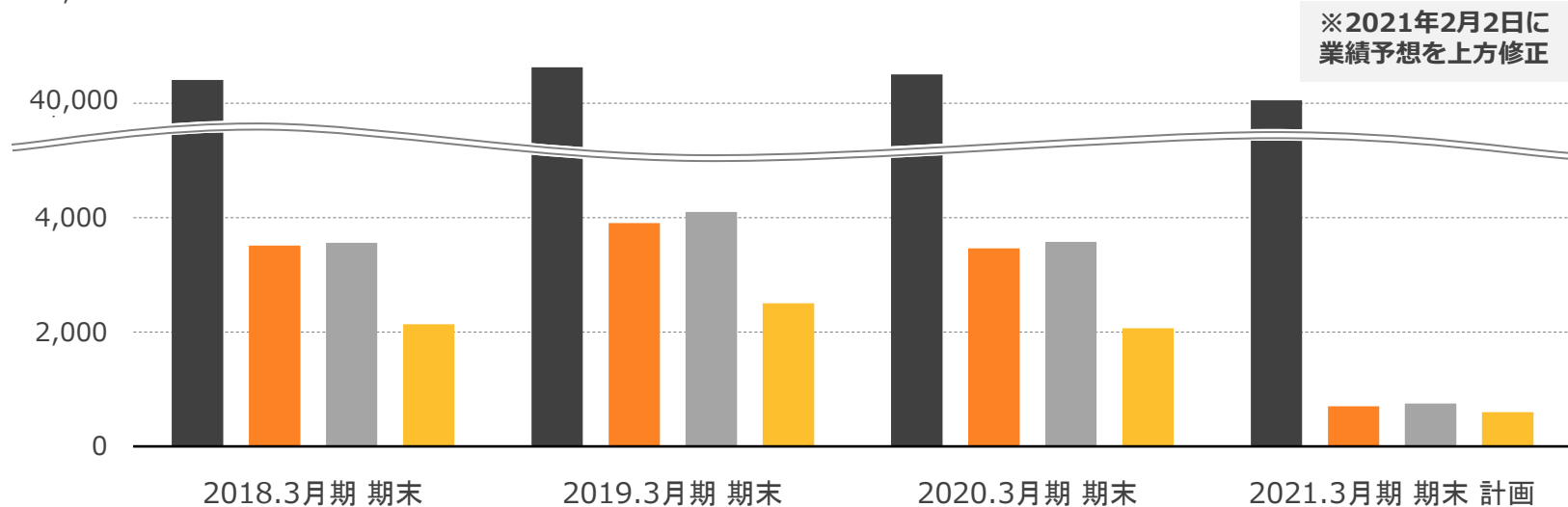
# 決算業績のまとめ

## 2021年3月期 第3四半期業績の概況報告

- 第3四半期累計の業績は、減収減益となったものの、期初の想定を上回る。
- 国内では、減収減益となったものの、減災・防災市場向け売上など自治体へのソリューション販売は堅調に推移した。またコロナ禍における社会の課題解決のため、新商品を発売した。
- 海外では、新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見通せない中、減収減益をしいられたが、その中で、ベトナム・台湾・香港が増収となっている。
- 国内市場の回復基調は緩やかなものに留まり、海外についても新型コロナウイルスの影響は国ごとにばらつきが見られ、引き続き不透明な状況が続いている。

# 2021年3月期 数値計画

(単位：百万円) 60,000

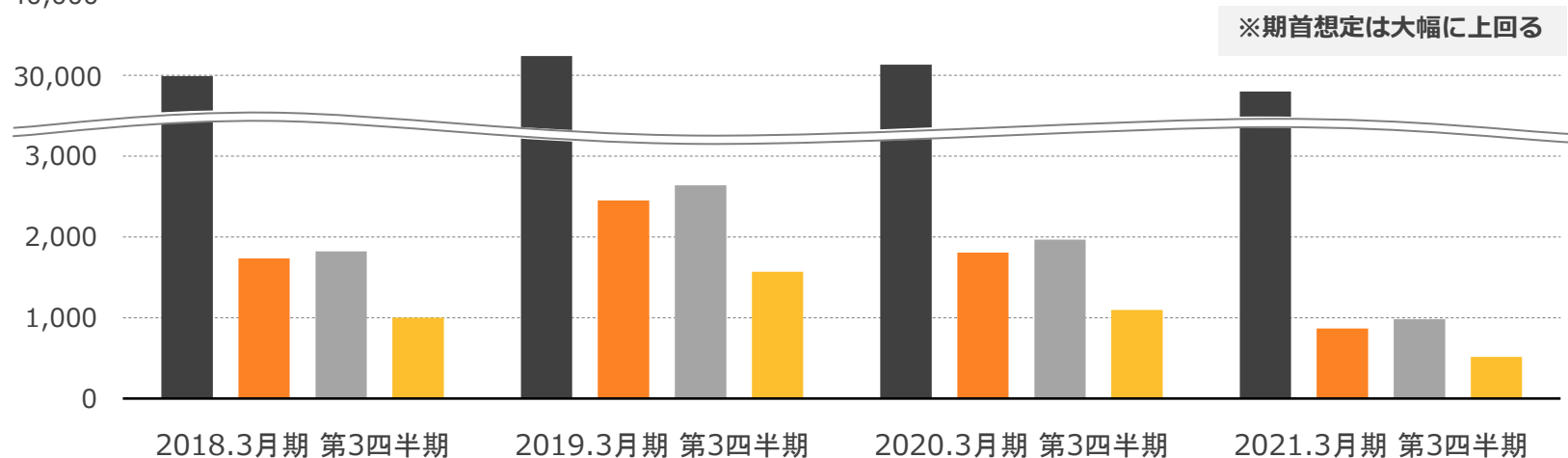


■ 売上高	44,180	46,338	45,068	<b>40,500</b>
■ 営業利益	3,510	3,903	3,465	<b>1,800</b>
■ 経常利益	3,561	4,099	3,577	<b>1,850</b>
■ 最終利益 (注)	2,138	2,504	2,065	<b>1,100</b>

(注) 親会社株主に帰属する当期純利益

# 2021年3月期 第3四半期の業績（連結）

(単位：百万円) 40,000



■ 売上高	29,986	32,422	31,229	<b>28,074</b>	▲10.1%
■ 営業利益	1,734	2,453	1,807	<b>868</b>	▲52.0%
■ 経常利益	1,823	2,639	1,968	<b>980</b>	▲50.2%
■ 最終利益 (注)	1,001	1,571	1,095	<b>514</b>	▲53.1%

(注) 親会社株主に帰属する四半期純利益

※%表示は前年比増減率

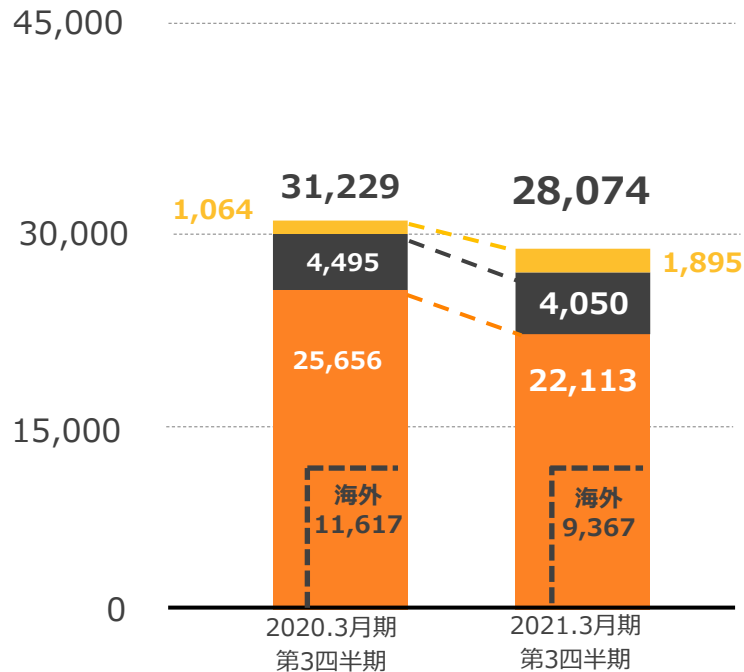
# 世界5地域における実績と地域戦略

---

# 分野別 売上の推移（連結）

(単位：百万円)

## 第3四半期 実績

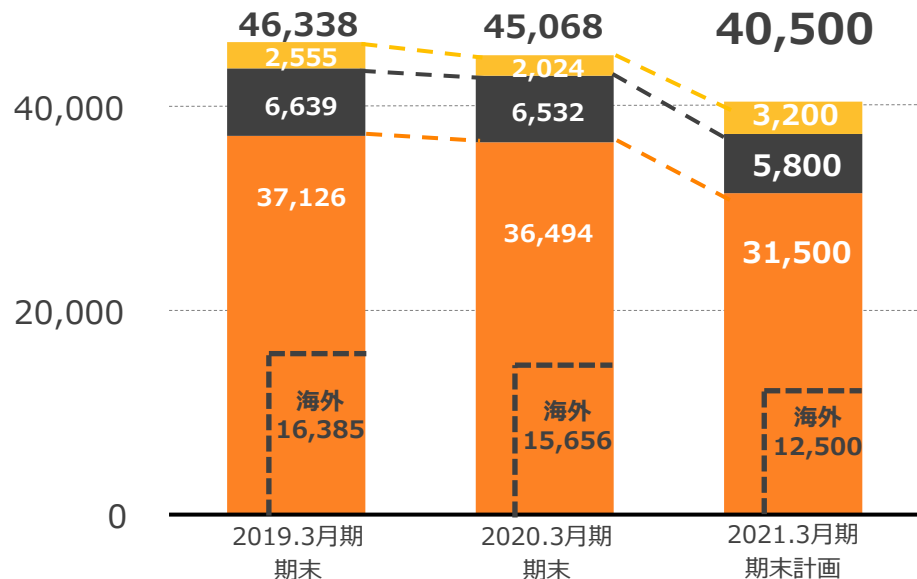


■ 音響 ■ 映像 ■ 鉄道車両

(単位：百万円)

## 年間数値計画

60,000



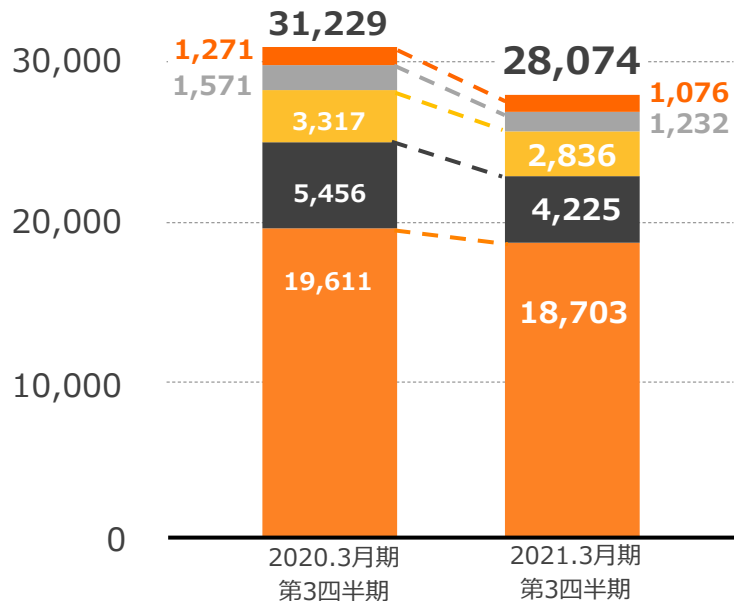


# 世界5地域別 売上の推移（連結）

(単位：百万円)

## 第3四半期 実績

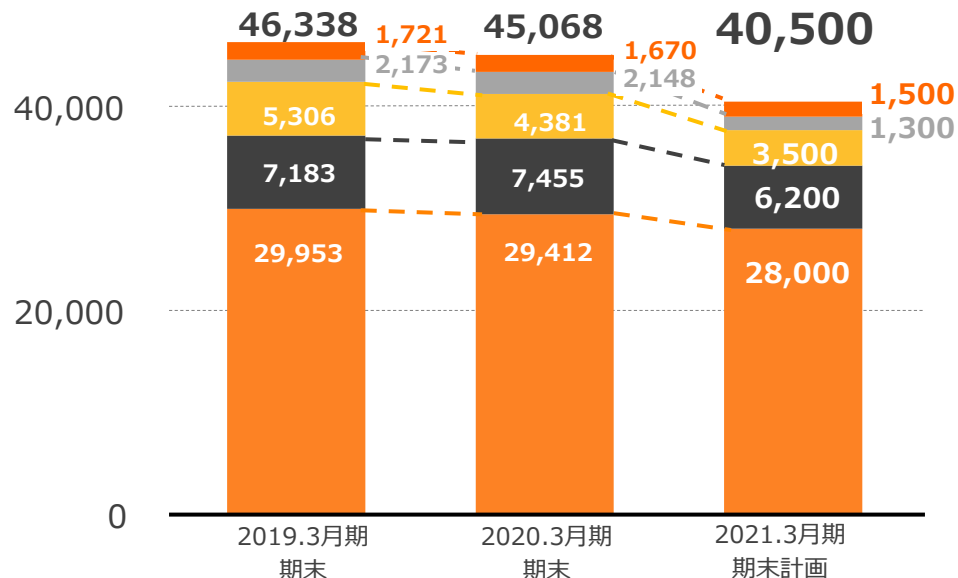
40,000



(単位：百万円)

## 年間数値計画

60,000



■ 日本
 ■ アジア・パシフィック
 ■ 欧州・中東・アフリカ
 ■ アメリカ
 ■ 中国・東アジア

# 研究開発費・設備投資と減価償却費の推移

(単位：百万円)

2020.3月期  
第3四半期

2021.3月期  
第3四半期

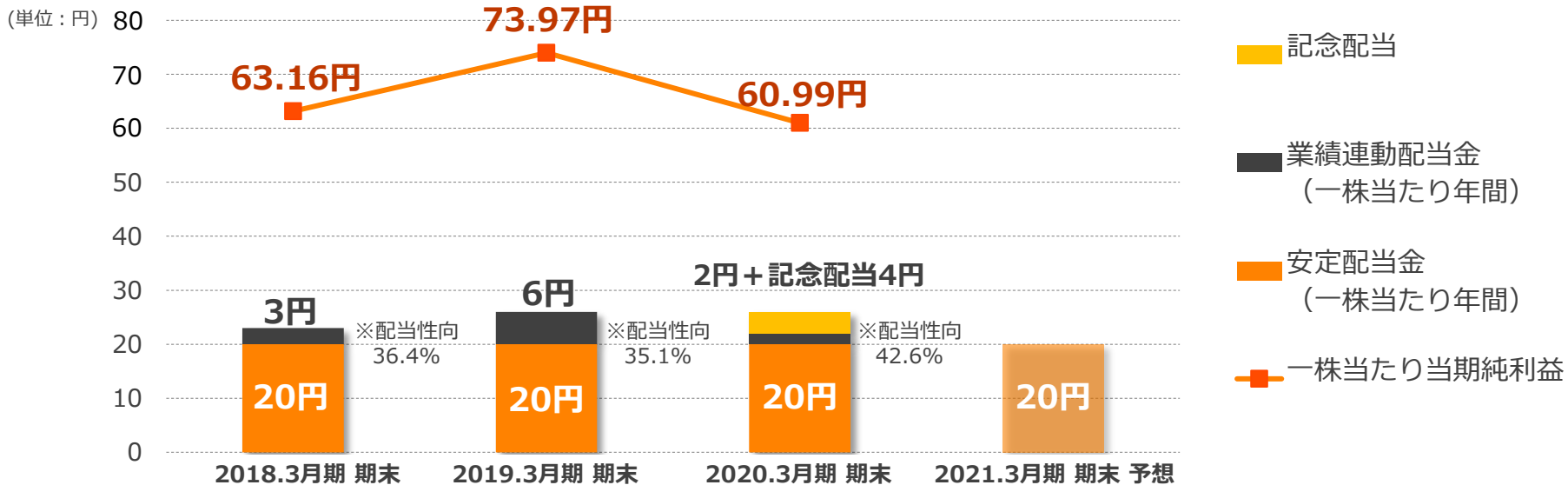
2021.3月期  
期末計画

研究開発費	2,129	<b>2,091</b>	3,000
設備投資	3,096	<b>1,272</b>	1,815
減価償却費	1,029	<b>1,059</b>	1,300

- 設備投資は宝塚事業場再開発が一段落したことにより、前年比で減少

# 2021年3月期 予想配当

## 安定配当20円を維持



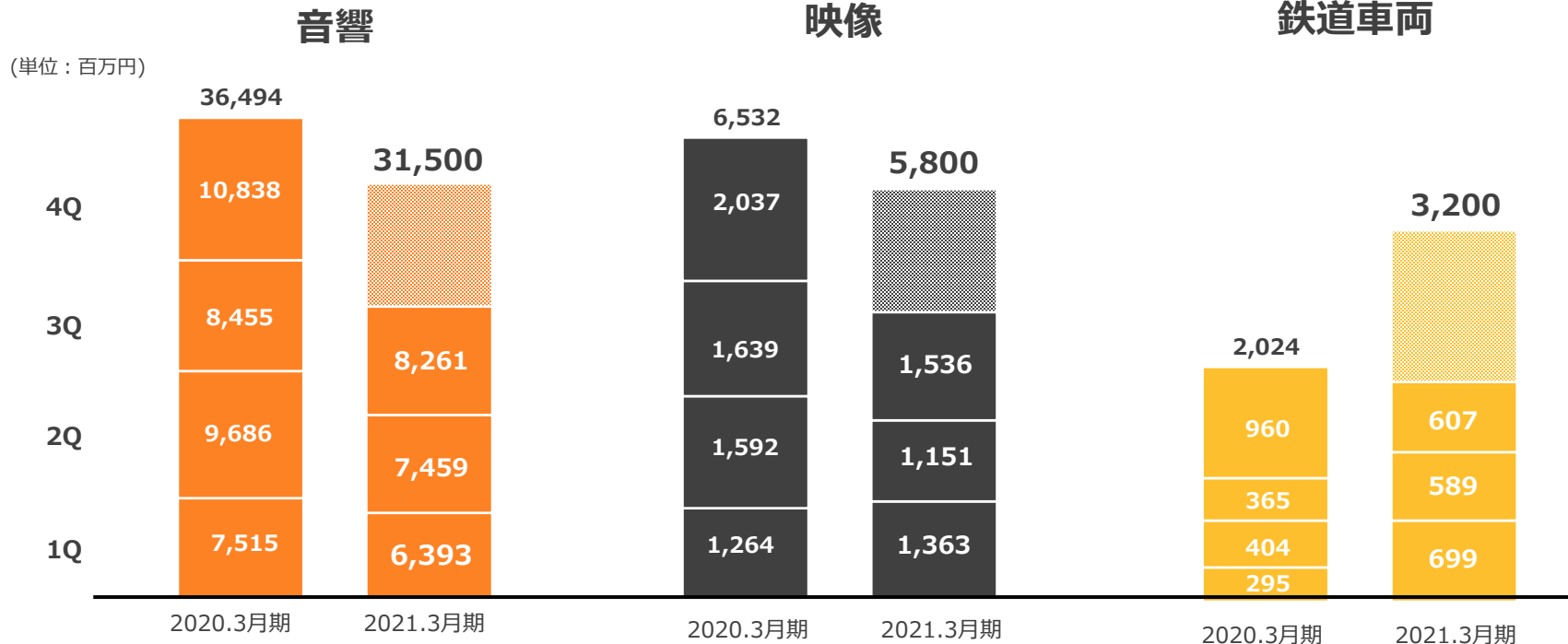
配当については、以下の事項を総合的に勘案して決定する方針

- ・ 年間 20 円 (中間配当 10 円、期末配当 10 円) の配当を維持。
- ・ 最低額を20円/株とした業績連動配当 (35%を目安) の実施。
- ・ 持続的な成長を可能とする内部留保とのバランスを勘案。

# 補足資料

---

# 四半期別 売上の推移(分野別)



# 減災・防災市場 売上の推移

(単位：百万円)

2,250

## 第3半期 実績

1,500

750

0

2020.3月期  
第3四半期

793

2021.3月期  
第3四半期

1,217

(単位：百万円)

2,250

## 年間数値計画

1,500

750

0

2019.3月期  
期末

698

2020.3月期  
期末

1,275

2021.3月期  
期末計画

1,500

# 市場別トピックス

市場	上期	下期以降	トピックス
工場			一部の業績が好調な企業では、生産性向上を図るための需要が増加 九州地区の大型工場を受注して納品、今後の拡張計画も視野
病院			提案型営業の強化により、リニューアル案件を獲得継続
減災防災			防災行政無線のデジタル化に伴い、高性能スピーカーの販売が好調 前年比約154%と大きく伸長。熊本県、岡山県などで大型案件を受注納品
教育			式典・体育祭等のイベント中止や、夏休み工事の発注停止により、前年比で大きく減少 一方で、感染対策の観点から拡声器の需要が生じており、提案機会は増加傾向
商業施設			中小スーパーなど外出自粛に伴う巣籠消費に関連する一部の業態を除き、需要は減少
交通インフラ			外出自粛とインバウンド需要の消失が影響し、前年比で大きく減少

- 官公庁需要が大きく伸長。公共需要獲得に向けた活動を強化の結果
- 専門性を強みとしたソリューション提案活動を継続

